

# 名刀 江雪 左文字



国宝「太刀 銘筑州住左(号江雪左文字)」南北朝時代(14世紀)  
ふくやま美術館蔵(小松安弘コレクション)

小松安弘  
コレクションの刀剣  
一挙大公開!

江雪齋、  
家康、  
頼宣が愛した  
刀の物語

2023年

2月4日(土)

3月19日(日)

休館日 月曜日

開館時間 午前9時30分〜午後5時

### 観覧料

一般1,000円(800円) 高校生以下無料

※( )内は前売りまたは有料20名以上の団体料金

前売り券は、ふくやま美術館ミュージアムショップ、JR福山駅観光案内所、  
ローソンチケット「Lコード」63624、などで2023年2月3日(金)  
まで販売。前売り券販売所の詳細、観覧料の減免・割引はふくやま美術館  
ホームページで確認。またはふくやま美術館にお問い合わせください。

### 主催

(公財)ふくやま芸術文化財団、ふくやま美術館、福山市、中国新聞備後本社

【前期】2月26日(日)まで

【後期】2月28日(火)から



FUKUYAMA MUSEUM OF ART

ふくやま美術館



(上)「黒塗鮫皮包鞘打刀拵」桃山時代(16世紀) ふくやま美術館蔵  
(下)「静和園第二回展観目録」昭和9年(1934) 個人蔵

### 江雪斎、茶道の秘伝を受ける



堺市指定文化財「山上宗二記」  
桃山時代(天正17年(1589)2月奥書)堺市博物館蔵

### 家康の南蛮趣味を示す甲冑



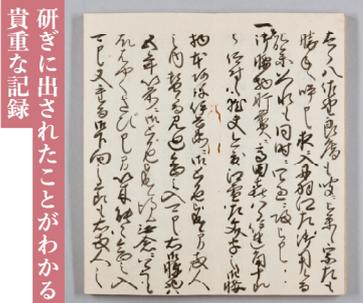
重要文化財「南蛮胴具足」  
桃山時代(16世紀) 紀州東照宮蔵

### 頼宣が初陣で着用した陣羽織



和歌山県指定文化財「紅地桃文様金糸人絹織  
陣羽織」江戸時代(17世紀) 紀州東照宮蔵

### 江雪左文字、錆びる!?



和歌山県指定文化財「紀州藩家老三浦家文書  
江戸出府日記」江戸時代(寛文3年(1663)10月3日)  
和歌山大学紀州経済史文化史研究所蔵

### 紀州徳川家ゆかりのもう一口の左文字



「刀 朱銘三木左(伝左(号三木左文字)」南北朝時代(14世紀) 個人蔵

### 紀州徳川家に伝わった当時の付属品が残る



「短刀 金粉銘當麻/木阿(花押) (名物上部当麻 城和泉当麻)」鎌倉時代(13世紀) 個人蔵

ふくやま美術館が所蔵する国宝「太刀 銘筑州住左(号江雪左文字)」は、南北朝時代に筑前国の刀工である左文字によって作られた太刀です。

北条氏の武将であった板部岡江雪斎の愛刀として知られており、のちに江雪斎が徳川家康の家臣となったため、家康の所有するところとなりました。さらに家康は、十男である徳川頼宣に「江雪左文字」を与え、頼宣はこの太刀を佩いて大坂冬の陣の初陣に臨んだと伝えられています。その後、頼宣が紀州藩の初代藩主となったこともあり、紀州徳川家では、初代頼宣の佩刀として「江雪左文字」を大切に守り継いできたようです。昭和8年(1933)には旧国宝に指定され、昭和9年(1934)まで紀州徳川家に伝わっていましたが、ついに売却され、長尾美術館の所蔵となりました。その後、福山市名誉市民である小松安弘氏の所有となり、平成30年(2018)にふくやま美術館に寄贈され、現在に至っています。

このように、有名な武将の手を経てきた「江雪左文字」の伝来経緯は、それ自体が伝説的で、一つの太刀が、天下の名刀となっていく過程を如実に物語るものです。一方で、刀剣は、ときに贈答品として用いられることもあれば、所有者に合わせて「カスタマイズ」されることもあるなど、持つ人の思い入れや、美意識をあらわすものともいえるでしょう。

本展では、かつての持ち主たちが愛した品々とともに「江雪左文字」を展観し、「江雪左文字」やその付属品からわかることを丁寧に検証しながら、この太刀に秘められた物語を紐解きます。

### 関連イベント

#### 記念講演会

「徳川頼宣の初陣具足と江雪左文字  
一家康が託した思いとともに」

講師：安永 拓世  
(東京文化財研究所・広領域研究室)

日時：2023年2月5日(日) 14:00～

会場：ふくやま美術館 1階ホール

定員：100名

\*事前応募不要、先着順、聴講無料

#### 学芸員による講演会

「名刀 江雪左文字  
一失われた付属品を求めて」

講師：月村 紀乃(当館学芸員)

日時：2023年2月26日(日) 14:00～

会場：ふくやま美術館 1階ホール

定員：100名

\*事前応募不要、先着順、聴講無料

#### 学芸員によるギャラリートーク

日時：2023年2月11日(土・祝)、3月5日(日)、

3月12日(日) 各日 14:00～

会場：ふくやま美術館 1階企画展示室

\*事前応募不要、特別展観覧券が必要

#### ワークショップ・短期実技講座A

「わたしの香り袋づくり  
～家康も愛した香木の世界～」

江雪左文字を所有した徳川家康は、大のお香好きでもありました。家康にあやかり、様々な種類のお香を調査して、自分だけの香り袋を作ります。

講師：高橋 良昌(高橋佛壇店 店主)

日時：2023年2月18日(土)

①10:30～11:30 ②13:30～14:30

会場：ふくやま美術館 2階 工芸版画室

受講料：1,000円

定員：各回15名\*応募者多数の場合抽選

対象：高校生以上

応募方法：往復ハガキまたは市II P 電子申請システム(1/2(月・休)から受付開始)に「イベント名」「郵便番号」「住所」「電話番号」「名前」「参加希望時間」を記入し、ご応募ください。

\*1通につき1名

応募締切：2023年1月31日(火) 必着

#### 【同時開催】

冬季所蔵品展

「戦後日本美術の前衛—具体美術を中心に」

12月21日(水)～2023年3月26日(日)



### お問い合わせ・ワークショップ応募先

ふくやま美術館

〒720-0067

広島県福山市西町二丁目4番3号

Tel. 084-932-2345 Fax. 084-932-2347

Twitter: @fukuyama\_bi

#### 交通案内

・JR 福山駅福山城口(北口)から西へ400m

・山陽自動車道 福山東インターから車で20分

駐車場 68台

\*特別展・所蔵品展を観覧で1時間無料

